



教育活動アンケートからみる本校の強み・弱み

生徒、保護者、教師それぞれに行った今年度の「教育活動アンケート」の集約を行いました。そこから見てきた三滝中学校の強みと弱みについてご報告します。それぞれ該当の設問と対応策をお示しします。保護者の皆様、生徒の皆さん、アンケートのご協力ありがとうございました。



【強み】

生徒・保護者・教師の90%以上が肯定的回答

- ◎ 体育大会、三滝祭（文化祭）、修学旅行などの行事に意欲的に参加している。
- ◎ 部活動や委員会活動に積極的に参加している。

生徒・保護者の90%以上が肯定的回答

- ◎ 学校教育目標が『人を大切にする』であることを知っていて、その実現に向けて努力している。
- ◎ 学校では、興味ある授業や意欲を持って取り組める行事が行われている。
- ◎ 人権学習を通して、一人ひとりを大切に、いじめや差別を許さない態度が身についてきている。
- ◎ 道徳や総合学習を通して、「自分の生き方（現在の姿）」を見つめられるようになってきている。
- ◎ 学級や学年での友だち関係がうまくいき、楽しい学校生活が送れている。
- ◎ 健康で安全な学校生活を送ることができている。

生徒の90%以上が肯定的回答

- ◎ 先生は基礎的基本的な内容を、丁寧に分かりやすく教えてくれる。
- ◎ 体験学習を取り入れた授業で学習したことが、将来の自分に役立つと考えている。

⇒ 本年度も、生徒は、行事や部活動に意欲的・積極的に参加できています。

多くの生徒、保護者の皆さんから、行事面、人権学習や道徳をはじめ、「生き方につながる」キャリア教育の取組に対して肯定的な評価をいただきました。

また、生徒の友達関係を中心とした学校生活面については、9割以上の肯定的回答をいただきました。しかしながら、現在、友達関係に心配していたり、うまくいかず悩んでいたりする生徒も1割以内いることは、学校の課題と受け止め、生徒の声に耳を傾けながら対策を試みています。

学校としては、今後もさらなる工夫と新たな取組に着手しながら「仲間づくり」を大事にした教育活動を行います。



【弱み】

生徒・保護者・教師の 10～20%が否定的回答

- ◆子どもが、学習することに意欲を持ち、教え合ったり、深め合ったりして学習している。
- ◆「朝の読書」などの読書活動により、自分の読書に対する関心が高くなってきている。

生徒・保護者の 10～20%が否定的回答

- ▽学校が、少人数指導や個別学習、チームティーチングなどを行い、一人ひとりに応じて分かりやすく授業を行っている。

生徒の 10～20%が否定的回答

- ▽自分を含め、学校全体として、学校生活のルールが守られている。
- ▽先生やSCとの教育相談を通して、自分の思いを伝えることができています。

保護者の 10～20%が否定的回答

- ▽先生は基礎的基本的な内容を、ていねいに分かりやすく教えてくれる。
- ▽学校指定物品（制服・体操服・カバン）の価格は適切である。

➡ 教え合ったり、深め合ったりする学習活動をもっと取り入れます。

本年度も「班隊形や近距離での教えあい」の学習活動が少なかったことが課題です。また、ICTを活用して「教え合ったり、深め合ったりする学習活動」をもっと生徒の身近な取組とするまで実践する必要があると考えています。教師も、授業で生徒同士をもっとかかわらせたいと考えながら、ジレンマに陥っているところです。グループやペアといった形だけにとらわれず、「教え合うこと、深め合うこと」の本質にせまる学習活動を研究して取り組んでいきたいと考えています。



➡ 少人数指導の工夫をしています。

今年度の少人数指導（1クラスを2グループにわける習熟度別指導）は、人的条件でから2年生の数学と英語のみで実施しました。次年度は、現在、教員配置等未定であるため、具体的な体制は示せませんが、個別学習（個人の進度、個人の課題などに合わせた学習）については、タブレットを活用しながらもっと取り入れていく予定です。

➡ 生徒の声や思いを聞き取る体制を工夫します。

SCやSSWとの教育相談は、誰でも教師を通じて予約して行える状況です。予約は必要ですが、もっと相談しやすいような体制づくりを工夫したり研究したりします。

➡ 指定物品の価格については、今後も市全体や他校を参考にしながら、適切な価格となるよう進めます。

価格だけでなく、取り扱い業者、物品などについても、PTAやコミュニティスクールと連携しながら保護者の皆様へ情報提供を行い、よりよい取り扱いとなるよう努めます。